



解体前に工事安全祈願法要が行われた



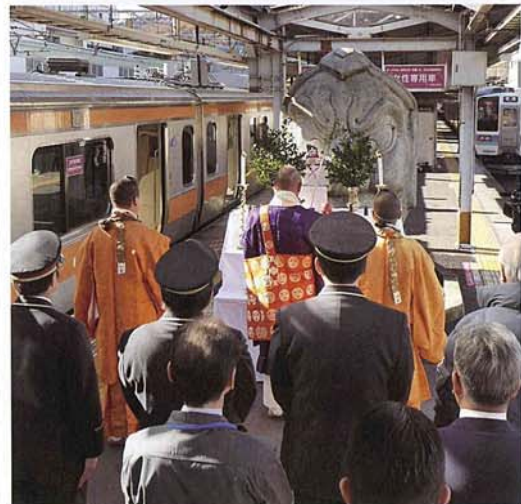
玉垣が建てられている工事の様子

現在、高尾山上の富士浅間社において、鳥居・玉垣の改修工事が行われています。工事に先立ち十一月二十七日浅間社において、工事の安全祈願法要が行われました。その後、解体作業が行われ、数日後には新たな玉垣となる、石柱が建てられ始めました。

この工事は、平成二十八年に富士登拝修行が再興されて十箇度を数えたことを記念し、損傷の著しかった鳥居・玉垣の改修のため、大勢の方々から賜りました玉垣御奉納の浄財により行われております。

改修工事が終了するまで、工事期間中は御参拝の皆様を始め、御来山の方々へ何かと御不便、御迷惑をお掛け致します。皆様には、宜しく御承知の上、御理解・御協力をお願い申し上げます。

高尾山富士浅間社 鳥居・玉垣改修工事



登山者の道中安全を願い、天狗面に祈りが捧げられた

十二月十日、JR高尾駅において、乗客安全、輸送安全、道中安全を祈る「天狗面祓い法要」が執り行われました。

法要に先立ち、天狗面の一年の汚れを落とすため、薬王院や高尾登山電鉄、公益社団法人八王子観光コンベンション協会の職員により、清掃されました。

法要には天狗面の制作者である大成浩先生も参列され、共に道中安全を祈りました。

天狗像は昭和五十三年十月に完成し、高さ二、四メートル、重さは十八トン、中一、八メートルあり、山梨県産の白御影石を使用しております。

天狗面祓い法要厳修 十二月十日(日)

大本山高尾山薬王院中興第三十一世貫首 大僧正 秀順大和尚二十三回忌法要厳修

十二月四日(月)



法要後には紅葉が彩る先師墓地に墓参された



回向文を読み上げる菅谷執事長



秀順大和尚を偲び、法類寺院や親族の皆様が祈りをささげた

謝辞を述べる大山御貫首